

図書館だより

北海学園大学附属図書館報 第30巻1号(通巻185号) 2008.4.3

vol.30

NO. 1

Bulletin of the Hokkai-Gakuen University Library

佐藤芳彰

2 クラーク博士のもう一つの言葉

犬飼裕一

3 タクシーに乗る楽しみ

上野之江 大塚秀之 岡本浩一

4 私が薦めるこの1冊

図書館の仕事

5 サービスカウンター係

6 初めての人のための図書館利用ガイド

図書&視聴覚資料

8 貸出ランキング

イチオシ!

10 データベース紹介

伊藤恵一

12 新入生にむけて

クラーク博士の もう一つの言葉

Control your appetites and passions.

文＝佐藤 芳 彰

(さとう よしあき／経営学部教授)

クラーク博士の言葉としては、もちろん「青年よ大志を抱け」が有名です。北大構内にあるクラーク像だけでなく、羊ヶ丘にある全身像が、この言葉とともに多くの観光客を迎えています。彼は、札幌農学校の設立に際し1876年に教頭として来日し、8ヵ月後の1877年4月16日に離任しました。その際、見送りに来た学生に残した言葉、「Boys, be ambitious like as this old man」が、上の訳となったと言われます。軽い別れの言葉だったのかもしれませんが、訳語のおかげで日本中に知れ渡ります。

クラーク博士の別のもう一つの言葉があります。と言っても、私を含めた一部の者の間で再認識されてきた言葉で、マイブームのようなものです。しかし、一昨年、その言葉がある記念誌にも載り、小さい記念碑にも刻まれました。それには私も関わったので、少しお話ししたいと思います。私事で恐縮ですが、私は、昭和45年に大学に入学しました。前年には東大安田講堂事件があり、大学紛争が収まりつつあるころ、札幌オリンピック開催の2年前でした。いったんは下宿したものの、大学食堂で張り紙を見てある寮に入ることになりました。北5条西8丁目にあった青年寄宿舍という名の寮です。この寮は、1898年に、札幌農学校2期生の宮部金吾によって設立されました。ちなみに、同じ2期生には、内村鑑三、新渡戸稲造らがいます。3期生には、北海学園大学のルーツである北海英語学校の創立者の一人である大津和多理がいます。宮部金吾は植物学者として1946年に文化勲章を受け、また、北大植物園の設立者としても知られており、園内に宮部金吾記念館があります。

このように伝統ある由緒ある寮でしたが、私が入った当時は既に忘れ去られたような存在でした。財政支援を一切受けず、寮費一人月5000円のみで学生自らが運営していたため貧乏な寮でした。1部屋2人で12部屋ありました。冬には、暖房費節約のため、4人が一部屋に入り石炭ストーブを囲んで机4つを置きました。冬の間中、

全く火の気のない別の一部屋に4つとんを並べて寝ていました。食事は賄いのおばさんを雇って作ってもらっていました。寮の前に路面電車が来るたびに建物全体が揺れたのを覚えています。荒れるにまかせた状態になっていて、外部からは人が住んでいるようには見えませんでした。

この寮の詳しい沿革は知られていなくても、一部の人には、禁酒禁煙の寮として知られていました。これは、信仰の自由と禁酒禁煙を舎是としていたからです。しかし、私が入った時は喫煙する学生もいましたし、外では飲酒も普通に行われていました。さすがに、寮内で公に飲酒されることはありませんでした。

時は流れ、一昨年、青年寄宿舍を解散・閉寮し建物を解体するに当たって、札幌在住のOBが中心になって記念誌と記念碑をつくることになりました。記念誌の中では、北大教育学部の所仲一先生が寮の沿革を担当され、禁酒禁煙の舎是に関して、その淵源がクラーク博士の1876年8月14日の札幌農学校開校式での学生に対する演説にあると推測されています。それは「健康を保ち、情欲を制し（Control your appetites and passions）、従順と勉強との習慣を養い、時機の学ぶべきに遭わば學術の何たるを論ぜず、力の及ばん限りその智識と熟練とを求めよ」と学生に要求した部分です。英語原文は『札幌農学校』札幌農学校学芸会編（初版華書房1898年、復刻版北大図書刊行会1975年）にあり、日本語訳は『宮部金吾』（岩波書店1953年、復刻版大空社1996年）からの引用です。いずれも北海学園大学図書館蔵書です。Appetitesは食欲や欲望、passionsは情熱や激情という意味ですが、これをコントロールすることは、今も昔もなかなか難しいことですね。「Control your appetites and passions」が記念碑に刻まれ、107年にわたって906名の青年が寝食を共にした寄宿舍跡に、ひっそりと残されています。



タクシーに乗る楽しみ

文＝犬飼裕一

(いぬかい ゆういち／経済学部准教授)

最近、学会の出張などで知らない街に行くと、意図してタクシーに乗ることにしています。

お目当ては運転手さんと話すこと。これが楽しい。ほんとに楽しい。タクシーは貴重なチャンスです。その土地の、何の関係もない業界で生きているその土地の人と気楽に話をする唯一の機会です。

地下鉄やバスに乗って節約すると、長距離列車と違って、乗客と会話する機会はほとんどありません。学会の懇親会で、偉い先生に作り笑いで挨拶するよりも、かなり気持ちが良いものです。

しばらくすると大事なことに気づきます。それは、「タクシーの運転手に聞いた話題は、タクシーの運転手に話す」という鉄則。いうならば車内で閉じた会話の再生産。運転手がお客に聞かせたいと思う話ですから、別の運転手も聞きたいわけです。例えば、冬の札幌の運転手に聞いた雪道運転の苦勞話は、ほとんど雪が降らない熊本のタクシーでも盛り上がります。

「雪降るとおー、熊本では、タクシーばあつ、止まるとです。」

「お休みつです。」

「危ないつです。」

「お客さんばあー、危険にあわすとおー、いかにてつす！」

……こんな使命感のタクシーが走り回る街は何度でも訪ねたくなりますね。

もちろん、無口な運転手さんもかなりいます。これは苦しいです。何とか会話の糸口を見つけ出そうとして話しかければ話しかけるほど無口さが深まっていく場合、苦しさは倍増いたします。バスに乗れば良かったと思うこともある。

ただ、タクシーに乗るのが昔から楽しかったのかというと、そうではない。二十代の頃、そもそもタクシーに乗りはしませんでした。たまに乗ると緊張するばかり。運転手さんに話しかけられるとドキドキしたものです。

知らない場所だからタクシーに乗っているのに、その土地について何も知らないことがばれるのが怖いような、反面、下手なことをいって知ったかぶりの若造と思われるのも癪なような。ああでもない、こうでもない、そんなことを思い悩んでいる自分自身の青臭さに腹が立つような、そんな気分です。

私は名古屋の生まれなのですが、うちの大学に赴任して数年は、札幌のタクシーに乗ると、「お客さん、札幌は観光ですか？」などと聞かれたものです。一年も住んでいて、こうたずねられると、なにやらほろ苦い感じ。少し淋しいですね。そんな淋しさがしばらくの間に薄らいだ旅情を誘いました。

ところが、この数年はそれがなくなりました。最初は言葉の違いかと思っていたのですが、ずうずうしく慣れた雰囲気か漂っているからでしょうか。相手は、仕事上、人間観察のプロです。ほんの少しのことで客の属性を鋭く見分けているのでしょう。

そんなことを頭の片隅で考えながら札幌のタクシーに乗っていると、自分がやたらに地元の話題を話したがつていることに気づきます。「平岸街道の雪は去年の方が多かったですよええ」といえば、去年の冬もこの近所に住んでいたことを主張している。自分がいかにこの町の人間なのかということを強調したがつている。無意識に自分の居場所を他人に認めてもらおうとしているのでしょうか。自分もこの街の一員なんだぞ！というわけです。ただ最近では、そんな気分が残っている自分が貴重であるようにも思われます。

今日の出会いが、会話が、明日には決してつながらないところがタクシーですね。何があっても目的地に到着すれば、それで終わりの人間関係。一度話した話題が、何度でも使える。話し好きな運転手さんも、一日中飽きないで同じ話をしているのでしょか。そんなことは確かめようもないのも、やはりタクシーなのです。

私が薦める この1冊

「私が薦めるこの1冊」というお題を頂きましたが、私は図書館を利用して英語の力を保持する方法について紹介します。

文= **上野之江**

(うえの ゆきえ/法学部教授)

学部を問わず、日ごろから授業以外でも英語に接して英語の力を落としたいくない、と思われる方は多くいると思います。そのような方はぜひ、図書館を活用してください。

まず、毎日10分英字新聞と雑誌に目を通しましょう。1階「自由閲覧室」には*The Japan Times*、*The New York Times*、『週刊ST』があります。毎日の日本のニュース、キーワードを英語でどう表現するか自然と身につきます。

2階「ブラウジング・コーナー」では英語雑誌が閲覧できます。ブラウジング (Browsing) とは、to look through the pages of a book, magazine etc. without a particular purpose, just reading the most interesting parts、「拾い読み」をするということです。インターネットのブラウジングと同じです。ここでは、*The Economist*、『英語教育』、『英語青年』、『言語』が読めます。窓側には、*English Journal*、*Newsweek (English)*、*Newsweek (Japanese)*、*The New York Times Book Review*、*The New York Times Magazine*があります。これらの雑誌を定

期的に読み、英語の力をつけると同時に世界の新しい動向、流行、考え方にいち早く触れることができます。これも語学学習の醍醐味でしょう。

蔵書カタログでは『英語』の分類番号は「830」です。3階の閲覧書架に行くと「830英語」の棚には、『英語音声学』『現代の英文法』『英語でプレゼン』『英検準1級問題集』『TOEIC問題』等、多種多様のタイトルが並んでいます。興味のあるものを活用しましょう。

同じ階の「1. 辞典」には、Longman、CouBuild、の英英辞典から英和、和英大辞典が並んでいます。最後に2階貸出しカウンター左には「視聴覚資料所蔵リスト」があり、ここでDVDなどを借り3階AVブースで視聴できます。『アルマゲドン』等英語の映画から、『ナショナルジオグラフィックDVD』『BBC Shakespeare』『Birth of a language』『ハートで感じる英文法』等多様なものが試聴できます。

図書館は宝の山です。在学中にうまく活用して英語の力を伸ばしてください。

私が薦める この1冊

エリック・シュローサー

『ファストフードが世界を食いつくす』(草思社、2001年)

文= **大塚秀之**

(おおつか ひでゆき/人文学部教授)

最近の食生活の変化はじつに著しい。魚屋・八百屋・肉屋といった食材の専門店が次々と姿を消し、それに代ったスーパーの食品売場には、世界各地からの魚や肉類が、これまた外国産の加工食品や冷凍食品などといっしょに並べられている。また、幹線道路沿いや駅前にはどこへ行ってもマクドナルドやKFCといったファストフード店やファミリーレストランが軒を並べ、食材や食べ物、飲食場所や町の景観面でも画一化が進行している。

こうした食生活や食文化の画一化や外部化がわが国以上に進行しているのが、ファストフードの最先進国アメリカであり、そこの事態を深く掘り下げて考察した本書には、「代表的なアメリカの食事の暗部」という副題

がつけられている。それではいったい何がファストフードとその産業の暗部なのだろうか？

マックジョブという言葉が低賃金の代名詞となっているほどに劣悪な労働条件、そのために欠かせない徹底的な反労働組合主義、食材を納入する農家の独立性の喪失と契約農家化、食肉加工業で進行する寡占化と安上がりで使い捨てに都合の良い移民労働者、ことに不法移民の意図的な利用などなど、著者の考察は広い範囲に及び、手軽で安く、そしておいしいファストフードは、同時に、食の安全や人々の健康、人権や環境などを深刻な危機に陥らせている、と著者は言う。わが国の食を考えるうえでも傾聴に値する一書である。

文＝岡本浩一

(おかもと こういち／工学部准教授)

16歳の春、学区をまたいで入った高校には、それまで出会ったことのない世界が広がった。ひと、まち、遊び、全てが新鮮だった。行動範囲の広がりだけでなく、人間関係の広がり、世の中を感じる感覚の広がりを感じた。片道1時間弱のバス通学、バスの座席もまた新しい世界への入口、沢山の本と出会った。

ある日、日常の何気ない場面や話題を絡めて授業を進める化学の教員が、話題に取り上げたのは安部公房の「盲腸」という短編である。人類の食糧危機を脱するため、セルロースを分解する酵素を持つ羊の盲腸を人間に移植する実験を題材に、被験者の身体的変化と心象とを描いたSFだ。この作品を機に安部公房の作品をバスの座席で読み耽り、出会ったのが「箱男」という作品である。

箱男は、箱をかぶってまちにひそむ。作中の一節を借りれば、『統計があるわけではないが、全国各地にはか

なりの数の箱男が身をひそめているらしい痕跡がある。』らしい。しかし、箱男は誰の目にも映らない。都市の一部にひっそりとけ込むのだ。その存在に気づいた者は、あたかも伝染するかのように箱男になってしまう危険性を孕む。

見たいものだけを見る、見たくないものは見えない。そんな人間の無意識による視覚の働きを仮定しながら、渦巻く都市の壁を想像させる。

安部公房の作品には、都市の表情が精緻に描かれるものが多い。都市計画という分野に携わり、まちや暮らしを研究し伝える立場の私には、改めて興味を惹かれる作品群でもある。今、見ているまちの日常は、自らが無意識に選別した結果の姿なのか……。『箱男』に描き出される「見えていても見えていないもの」への視線が、新しいまちと出会わせてくれる。

「図書館の仕事」

～サービス・カウンター：本館～

こんにちは。今回はサービス・カウンターとみなさんが関係している仕事を紹介していきます。

カウンターでは主に本の貸出、返却業務をしています。みなさんが本を借りたい時などには学生証が必要になります。

他にも、PCブースの利用、視聴覚資料の館内閲覧、閉架資料の取り出し請求、本の予約、工学部から資料の取り寄せなどの申し込みを受け付けています。

図書館は毎年約25,000冊前後の新しい本が入ってきます。いろいろなジャンルの本を取り入れています。それでも自分の見たい資料が図書館にない場合があります。その時は3階に置いてある『購入希望図書申込書』に自分の見たい資料

を記入して、購入希望図書ポストへ投函、またはサービス・カウンターに提出してください。できる限りみなさんの要望に応じていきたいと思っています。

また視聴覚資料は図書館だから難しいものばかりというイメージを持つ人も少なくないと思いますが、今話題のDVDやアカデミー賞受賞作品など多種多彩の資料が閲覧できます。

さらにはPCを利用して本学図書館ホームページからさまざまな文献を検索することができ、みなさんが調べものをするときに非常に役に立つと思います。

他にも紹介しきれなかったことがたくさんありますので、是非一度、図書館に来てみてください。

初めての人のための図書館利用ガイド

「利用案内」を読もう！

「北海学園大学附属図書館 利用案内」には、図書館を使う上での基本的なポイントが説明されています。図書館内の他、学内数箇所を設置してありますので、ぜひ一度ご覧ください。

図書館を使おう！

本学の学生であれば、入館手続きは必要ありません。

たくさんの蔵書がある！〈約80万冊〉

- 本館（豊平校舎）：社会科学（経済・経営・法律・教育など）、人文科学（歴史・哲学など）、自然科学（科学・物理など）、民俗関連図書など
- 工学部図書室（山鼻校舎）：土木工学、建築工学、情報工学、エレクトロニクス関係資料など

レポートや論文をゆっくり書ける！

夜遅くまで利用できる！

		月～金	土
開館時間	本館		
	2F・3F閲覧室	9:00～22:00	9:00～22:00
	1F自由閲覧室	9:00～22:30	9:00～22:30
	工学部図書室	9:00～20:00	9:00～15:00
利用時間	本館	館内閲覧	9:00～22:00 9:00～22:00
		レファレンス・サービス	9:00～17:00 9:00～12:00
		貸出	9:00～21:45 9:00～21:45
		返却	9:00～21:45 9:00～21:45
		返却ポスト	21:45～9:00 21:45～9:00
		複写機/AV・PCブース	9:00～21:45 9:00～21:45
	工学部図書室	館内閲覧	9:00～20:00 9:00～15:00
		レファレンス・サービス	9:00～16:30 9:00～12:00
		貸出/返却	9:00～19:45 9:00～14:45
		複写機/AV・PCブース	9:00～19:45 9:00～14:45
休館日	日曜日、国民の祝日とその振替日、5月16日、学園創立記念日、入学式・卒業式、入学試験日・準備日（センター試験・一般入試）、年末・年始 臨時休館日は掲示等でお知らせします。		

本を探そう！

本学図書館に所蔵している資料は、蔵書検索（OPAC）で検索することができます。また、本学図書館に所蔵していない資料は、他の図書館・機関等から取り寄せることができます。

図書館で購入してほしい図書があったら……

「購入希望図書申込書」を記入して、購入希望図書ポストへ投函、またはサービス・カウンターに提出してください。

本を借りよう！

- 借りたい図書と一緒に学生証をサービス・カウンターに提出してください。
- 貸出は5冊、15日間までです。なお、返却期限内かつ他の利用者から予約が入っていないければ、一度だけ延長することができます。
- 返却期限は必ず守りましょう。

いろいろな情報を探そう！

AVブースを使う！

AVブースでは、DVD、CD、ビデオ等の視聴覚（AV）資料が利用できます。視聴覚資料棚の横にある「視聴覚資料所蔵リスト」で利用したい資料を選んでください。なお、持ち込み資料の閲覧はできません。

PCブースを使う！

PCブースでは、インターネットとCD-ROM等の閲覧利用ができます。

ホームページを活用する！

図書館からのお知らせ、開館時間、休館日の他、調査や研究に役立つ情報もたくさん掲載されています。

たとえば、本館HPで利用できるデータベース。日常生活のふとした疑問からレポート作成のための学術的資料まで幅広い情報を手に入れることができます。

ぜひ一度、ご覧ください。

（図書館では、これらのデータベースの利用説明会を開催しています。）

図書館用語のポイント

● OPAC (Online Public Access Catalog)

どんな資料が所蔵されているかをオンラインで検索するシステムのこと。本学図書館では「蔵書検索」とも呼んでいます。

● NACSIS-Webcat

国立情報学研究所が提供している総合目録データベースのこと。全国の大学図書館が共同作成しているもので、探している資料がどこの図書館に所蔵されているかを検索できます。

(<http://webcat.nii.ac.jp/>)

● 書誌情報

個々の資料を識別できるような、書名、著者名、出版社などの情報一つ一つ、または総称をいいます。

● 所蔵情報

OPACで探している資料が見つかった場合に表示される情報（配架場所、所蔵ID、ステータス、請求記号など）のこと。複本があると何件も表示されます。

● 配架場所

資料を置いている場所のこと。代表的なものに、本館開架、本館閉架、工学部開架、工学部閉架などがあります。

● 開架図書／閉架図書

閲覧室内にある図書を開架図書、書庫内にある図書を閉架図書といいます。閉架図書を利用したい場合は、カウンター職員に取り出し請求します。同一図書が開架、閉架双方にある場合は、開架図書を利用してください。

● 請求記号

資料が配架されている位置を示す記号のこと。一般的には、分類記号と図書記号（著者記号）の組み合わせで表します。

● 請求記号とは!?

分類番号	→ 918.6
著者記号	→ Y89
巻数等	→ 17

● 分類番号

日本十進分類法によって分類された番号のこと。

● 著者記号

著者を表す記号のこと。著者の読み（カタカナ、ひらがな、ローマ字など）及びタイトル名から綴りの初字（1から3字）、または数字との組合せでできています。

● 所蔵ID

資料に貼付された固有のバーコード番号のこと（同一の所蔵IDは存在しません）。

● 禁帯出資料

館外への持ち出しを禁止している資料のこと（主に参考図書）。資料の背に赤い丸シールが貼っている資料は貸出できません。

● 参考図書

主に辞書、辞（事）典、年鑑、年報、統計、白書類などを指します。

● 製本雑誌

バラ雑誌を数号分綴じあわせて扱いやすいように一冊にまとめたもの。本学図書館では、バラ雑誌の貸出は行っていないが、製本雑誌は貸出可能です。

● レファレンス

参考業務ともいいます。利用者の求めに応じて、担当職員が調査・研究の手助けをします。

図書&視聴覚資料

貸出ランキング

図書館の今が分かる！ 出ました！ 貸出のランキングです。
2007年4月1日～2008年2月29日の期間の貸出回数を基に集計をしました。
授業に役立つ図書や、見逃せないあの視聴覚資料もありますよ！
読んで見て損は無い、注目のランキングです！

本の貸出

ランキング 2008 1～9位

期間：2007年4月1日～2008年2月29日

※文字情報：上から 書名、出版社、著者、請求記号、所蔵ID

1位

貸出回数 39回



地域開発政策と
持続的発展：
20世紀型地域開発
からの転換を求めて
日本経済評論社
小田清著
601/KOD
0527694 他8冊

2位

貸出回数 36回



刑法総論講義
第4版
東京大学出版会
前田雅英著
326.1/MAE
0557633 他2冊

3位

貸出回数 34回



陰日向に咲く
幻冬舎
劇団ひとり著
913.6/GEK
0545567 他1冊

3位

貸出回数 34回



図書館戦争
メディアワークス
有川浩著；徒花スク
モイラスト
913.6/ARI
0552679 他1冊

5位

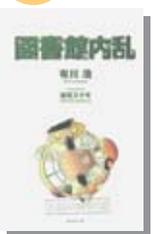
貸出回数 33回



債権総論・担保物権
第3版
東京大学出版会
内田貴著
324/UCH/3
0542428 他4冊

5位

貸出回数 33回



図書館内乱
メディアワークス
有川浩著；徒花スク
モイラスト
913.6/ARI
0552948 他1冊

5位

貸出回数 33回



生命と魂のリミット
新潮社
東野圭吾著
913.6/HIG
0558635 他2冊

8位

貸出回数 32回



地域経済学
有斐閣
宮本憲一、横田茂、
中村剛治郎編
332.9/C43
0033233 他7冊

9位

貸出回数 31回



ハリー・ポッターと
謎のプリンス 上
静山社
J. K.ローリング作；
松岡佑子訳
933/ROW/上
0546396 他3冊

9位

貸出回数 31回



債権各論 第2版
東京大学出版会
内田貴著
324/UCH/2
0555381 他4冊

11位

貸出回数 30回

名もなき毒

幻冬舎
宮部みゆき著
913.6/MIY
051536 他1冊

夜は短し歩けよ乙女

角川書店
森見登美彦著
913.6/MOR
0634341 他1冊

Gボーイズ冬戦争

文藝春秋
石田衣良著
913.6/ISH/7
0559120 他2冊

本の貸出

ランキング 2008 15~25位

順位	タイトル	出版社名	編著者名	請求記号	所蔵ID	貸出回数
14位	刑事訴訟法 最新第2版	早稲田経営出版	新保義隆、早稲田司法試験セミナー編著	327.079/SHI1	0384664 他2冊	29
15位	日本人らしさの構造:言語文化論講義	大修館書店	芳賀綾著	810.1/HAG	0548080 他2冊	28
	地域経済発展と労働市場:転換期の地域と北海道	日本経済評論社	奥田仁著	332.11/OKU	0266177 他6冊	
18位	自治体学の二十年:自治体学会設立の経緯	公人の友社	森啓著	318/MOR	0608831 他6冊	27
	銃とチョコレート	講談社	乙一著	913.6/OTS	0551502 他2冊	
19位	総則・物権総論 第3版	東京大学出版会	内田貴著	324/UCH/1	0542739 他2冊	26
	秘密	文藝春秋	東野圭吾著	913.6/HIG	0560133 他1冊	
22位	実務解説独禁法Q&A	青林書院	伊從寛、矢部丈太郎編	335.57/JIT	0608615	25
	ハリリー・ポッターと謎のプリンス 下	静山社	J. K.ローリング作:松岡佑子訳	933/ROW/下	0546397 他3冊	
23位	手紙	毎日新聞社	東野圭吾著	913.6/HIG	0393204 他1冊	24
	チーム・バチスタの栄光	宝島社	海堂尊著	913.6/KAI	0545682 他1冊	
26位	イチニツイテ	講談社	佐藤多佳子著	913.6/SAT/1	0552174 他1冊	23
	内閣の創設から政党内閣の崩壊まで	新評論	小山博也[ほか]著;白鳥令編	317.2/Sh86/1	0297694 他1冊	
	新Java言語入門 改訂	ソフトバンクパブリッシング	林晴比古著	007.64/HAY	0538591 他3冊	
	死神の精度	文芸春秋	伊坂幸太郎著	913.6/ISA	0546663 他1冊	
26位	ヨウイ	講談社	佐藤多佳子著	913.6/SAT/2	0552175 他1冊	23
	ナイチンゲールの沈黙	宝島社	海堂尊著	913.6/KAI	0557026 他1冊	

AV資料貸出

ランキング 2008 1~29位

期間: 2007年4月1日~2008年2月29日

1位 貸出回数 114回

パイレーツ・オブ・カリビアン:デッドマンズ・チェスト
2-Disc スペシャル・エディション



2位 貸出回数 108回

タイヨウのうた



3位 貸出回数 92回

M:i:III 2-disc collector's edition



順位	タイトル	貸出回数
4位	嫌われ松子の一生:memories of Matsuko	91
5位	ダ・ヴァンチ・コード テラックス・コレクターズ・エディション	88
6位	花田先生の経済学シリーズ:入門基礎編1- I 間宮兄弟	67
8位	パイレーツ・オブ・カリビアン:呪われた海賊たち コレクターズ・エディション	66
9位	マイアミ・バイス	62
10位	イングランド・プレミアリーグの誓い standard edition	59
11位	ゲド戦記:tales from Earthsea 特別収録版	57
12位	花田先生の経済学シリーズ:入門基礎編1- II	55
13位	The有頂天ホテル スペシャル・エディション	54
14位	ライオンと魔女 スペシャル・2-Disc コレクターズエディション	53
15位	ただ、君を愛してる Premium edition	51
16位	花田先生の経済学シリーズ:入門基礎編2- I	50
17位	ハリリー・ポッターと炎のゴブレット 2-disc edition	46
18位	プレイブストーリー 2-disc edition	45
19位	トランスポーター2	44
20位	花田先生の経済学シリーズ:入門基礎編3- II S.W.A.T. コレクターズ・エディション	43
22位	ディパーテッド	42
23位	花田先生の経済学シリーズ:入門基礎編2- II	40
24位	カジノ・ロワイヤル:007 Deluxe collector's edition	39
25位	花田先生の経済学シリーズ:入門基礎編3- I	38
26位	花田先生の経済学シリーズ:入門基礎編4- I 花田先生の経済学シリーズ:入門基礎編4- II	37
28位	武士の一分	34
29位	ALWAYS:三丁目の夕日 花田先生の経済学シリーズ:入門基礎編5- I 花田先生の経済学シリーズ:入門基礎編5- II	33

イチオン! データベース紹介

- ①JapanKnowledge
- ②日経新聞オンラインデータベース
[日経テレコン21]

データベースとは、様々な目的を考慮して整理整頓されたデータの集まりのことです。このコーナーでは、本学のオンライン環境で利用できる様々な分野のデータベースの中から、特に人気の高いものを厳選してご紹介します。

オンラインデータベースへの接続の仕方



1 図書館のホームページを開く。

2 「電子情報サービス」の中にある「学術文献データベース」(もしくは、「データベース一覧」)をクリックする。

3 一覧から利用したいデータベースを探し、名称をクリックする。



データベース利用上の注意

- 同時接続数に制限のあるデータベースがあります。うまく接続できなかった場合は、しばらく経ってから再度試してみてください。
- データベースの利用を終了する際は、必ずログアウトを行ってください。ログアウトの仕方がわからないときは、図書館職員にお尋ねください。

①JapanKnowledge (ジャパンレッジ)

『日本大百科全書 (ニッポニカ)』を筆頭とする出版各社の優良事典・辞書等の豊富な知識源を一括検索することのできるデータベースです。レポートや論文の作成だけでなく、日常のふとした疑問の解決や旅行の下調べ、日々話題作り等々、様々な場面で活用できます。

[トップページ]



ログイン(法人)ボタンをクリックする。

トップページの情報は日々更新される。

本文の関連情報も充実している。



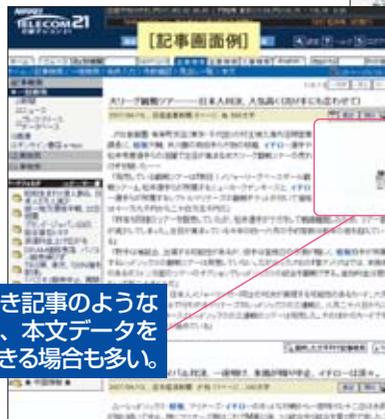
様々な事典・辞書を収録している。



②日経新聞オンラインデータベース [日経テレコン21]

日経四紙(『日本経済新聞』・『日経産業新聞』・『日経流通新聞MJ』・『日経金融新聞』)、日経地方経済面、日経プラスワン、日経速報ニュースなどの記事検索の他、企業検索・人事検索等が行えます。

[トップページ]



切り抜き記事のような感覚で、本文データを入手できる場合も多い。

本学では、日経新聞の他、朝日新聞、北海道新聞、読売新聞のオンラインデータベースが利用できます。



新入生にむけて

文＝伊藤 恵一

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。新しい生活が始まり、気分を新たにしている頃ではないかと思えます。今までの生活と大学生活とでは異なることがあるため、新しい環境に早く慣れてほしいものです。今回は、私が法学部OBということもあり、法学部に入学する学生を中心に話しますが、他学部の学生にも参考になるかと思えます。私が紹介する図書は、弥永真生著『法律学習マニュアル（第2版補訂版）』（有斐閣、2007年）です。著者の弥永先生は筑波大学教授で、商法を専門に研究されています。弥永先生は他の著書も数多く出されていることから、皆さんも後に、弥永先生の著書を読む機会があると思います。そこで、今回紹介する図書を見ますと、まず、「法律学の勉強のイメージ」と題

する章があり、高校時代の勉強と法律学の勉強との違いについて書かれています。高校を卒業した後すぐに法学部に入ってくると、「勉強方法をどのようにしていくか」で迷う人が多いため、皆さんには参考になるはずですが、その他の章（例えば、第8章「法律学的答案を書く」）においても、今後、皆さんが法律学を学んでいく際のヒントが書かれているため、事前に読んでおけば、講義や演習で担当の先生が話していた内容なども分かるのではないかと思います。最後に、大学生活は4年間ありますが、時間はあっという間に過ぎてしまいます。貴重な時間を大事に使って、充実したものにしてください。4年後には“Time is money.”の意味が必ず分かりますよ。

図書館利用ガイダンスに参加しよう!!

図書館利用ガイダンスとは？

情報の宝庫である図書館を使いこなすにはどうすればよいのか、そのためのノウハウをお伝えする場が図書館利用ガイダンスです。

どうやって参加するの？

- 1 まずは、自分の所属するゼミの先生に聞いてみよう。
▶ ゼミでは、学年に応じて次の2つのガイダンスに参加することができます。

オリエンテーション(4月～5月開催)

新入生を対象に、図書館の基本的な利用方法を説明します。

文献検索セミナーA・B(6月～12月開催)

オリエンテーション受講者相当の基礎知識を持つ学生を対象とし、必要な文献を入手するためのツールを説明します。

- 2 ゼミに所属していない、もしくは所属するゼミで図書館利用ガイダンスに参加する予定がないといわれたのですが……。▶ 大丈夫です。そんなときは次のガイダンスに参加することができます。

サポートセミナー(4月～12月開催)

ゼミで参加できる2つのガイダンスと同じ内容を説明します。詳しくは図書館ホームページやポスター等をご覧ください。

たくさんの方のご参加をお待ちしております。

編集後記

みなさん、図書館を利用していますか？

利用していない人の中には、行きたいけど行きづらい、使い方がわからないなど、利用したいと思ってはいるけどなかなか足が向かないという人が多いのでは？

そんなみなさんに朗報です！ 図書館では、初級者レベルのオリエンテーション、中・上級者レベルの文献検索セミナーという形で、利用者のニーズに合わせた利用ガイダンスを行っています。詳

しくは図書館ホームページをご覧ください。きっと色々な発見がありますよ。

最後に、せっかくの機会なので、DVDを紹介します。

「情報の達人 図書館へ行こう！ インターネット時代の情報活用入門」

大学生のための情報入手・活用方法がわかりやすく説明されています。ぜひ一度ご覧あれ。

北海学園大学附属図書館報 図書館だより 第30巻1号 (通巻185号)

本館 〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1番40号 工学部図書室 〒064-0926 札幌市中央区南26条西11丁目1番1号
TEL (011) 841-1161 (本館内線) 2273・2274・2275 (工学部内線) 7813・7814 印刷所：(株) アイワード